

高浜市議会だより

ぱいふる



高浜小学校 鬼あかりの制作

contents 目次

- P2 ～ P4 …… 5月臨時会・6月定例会：議案の件名・議決の結果（議員の態度）
- P4 ～ P9 …… 市政のここが聞きたい（一般質問）
- P10 …… 会議録公開案内、定例会中継案内
- P11 …… 政務活動費交付金会派別執行状況の公開、高浜市議会個人情報保護制度施行状況の案内、議会中継サイトへのアクセス状況
- P12 …… 各委員会委員一覧表、9月定例会日程・傍聴案内、編集後記



5月臨時会 第2回 (会期：5月22日・1日間) 議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)		議決結果	会派・議員氏名 (○＝同意・承認 ●＝不同意・不承認 除＝除斥)												
種類番号	件名		市政クラブ						公明党	共産党	高志クラブ	高浜市民の会	凛々会		
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川広人	鈴木勝彦	野々山啓	今原ゆかり	柴口征寛	岡田公作	倉田利奈	福岡里香	黒川美克
同意第4号	監査委員の選任について	同意	○	○	－	○	○	○	○	除	●	○	●	○	○
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分の報告について	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
報告第5号	専決処分の報告について	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6月定例会 (会期：6月11日から7月1日まで・21日間) 議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)		議決結果	会派・議員氏名 (○＝同意・賛成 ●＝不同意・反対)												
種類番号	件名		市政クラブ						公明党	共産党	高志クラブ	高浜市民の会	凛々会		
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川広人	鈴木勝彦	野々山啓	今原ゆかり	柴口征寛	岡田公作	倉田利奈	福岡里香	黒川美克
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	異議のない旨答申	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第5号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第6号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第7号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第8号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第9号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第10号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第11号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※神谷直子議員は、議長職のため表決権はありません。

6月定例会 (会期：6月11日から7月1日まで・21日間) 議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)		議決結果	会派・議員氏名 (○ = 同意・賛成 ● = 不同意・反対)												
			市政クラブ						公明党	共産党	高志クラブ	高浜市民の会	凛々会		
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川広人	鈴木勝彦	野々山啓	今原ゆかり	柴口征寛	岡田公作	倉田利奈	福岡里香	黒川美克
種類番号	件名														
同意第12号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第13号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第14号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第15号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第16号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	高浜市税条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第34号	高浜市都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	高浜市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	高浜市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	高浜市介護保険・介護予防の総合的な実施及び推進に関する条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	事業契約の変更について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和8年度高浜市一般会計補正予算(第1回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第40号	令和8年度高浜市一般会計補正予算(第2回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第41号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和8年度高浜市一般会計補正予算(第3回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

※神谷直子議員は、議長職のため表決権はありません。



今原 ゆかり 議員

オーラルフレイル対策について

問 オーラルフレイル対策は、食べる力を守るだけでなく、健康寿命の延伸、介護予防医療費抑制、高齢者の生活の質を守ることに繋がる大変重要な取組である。市はどう認識しているか。

答 口腔機能の低下は、低栄養の筋肉量の減少を招き、身体的フレイルのリスクを高めるとともに、会話、表情、コミュニケーション機能の低下を通じて、社会的・精神的にも影響を及ぼすものとなる。国内の大学研究機関による研究では、オーラルフレイルのある高齢者は、そうでない方と比べて、要介護・要支援になるリスクが約2.4倍になるとも示されており、全身の健康と深く関わっていると考えられる。こうした観点から、口腔の健康維持とオーラルフレイルの予防は、健康寿命の延伸と介護予防に直結する重要な取組であると捉えている。

問 今年度は、第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定の年度にあたる。この計画に、オーラルフレイル予防を明確に位置付け、具体的な取組を進めてほしいと思うが、どのように考えているのか。

答 口腔・栄養・運動を一体的に捉えたフレイル予防の取組をさらに充実させるとともに、オーラルフレイル予防についても重要課題として位置付けることを検討していきたい。

投票率の向上と投票環境の改善について

問 春日井市では、今年5月からデザインを一新した投票済証と、家族と一緒に投票所へ来た18歳未満のお子さんに配布される「親子連れ投票記念証」の配布がスタートした。また、デザイン性を高めた投票済証明書を発行する自治体も増えている。より魅力的なものとし、啓発につなげることを検討してはどうか。

答 投票率の向上を目指すためにも、親子連れ記念証などの発行については、前向きに検討していきたい。



黒川 美克 議員

本市の働き方改革について

問 生成AI活用の考え方と今後の方針は。

答 具体的な取り組みとして、職員が生成AIを業務に活用することにより、業務の効率化や質の向上、職員の負担軽減を目指している。

問 職員負担軽減に繋がる新たな取り組みは。

答 令和8年6月1日より窓口開庁時間の短縮の運用を開始し、これまで勤務時間と窓口の対応時間が同じだったが窓口時間を短縮することにより、勤務時間を守った働き方ができるようになり、職員の負担が軽減されると考える。

避難行動要支援者対策について

問 避難行動要支援者対策の基本的位置づけは。

答 災害時に自力避難が困難な高齢者や障害者の命と安全を守るための本市の重要な取り組みで、令和3年の災害対策基本法改正を踏まえ、この取り組みを単なる名簿管理にとどまらず、防

災、福祉が連携し地域で命を守り合うための重要な施策として位置づけ、誰一人取り残さない地域社会の実現に向けて取り組んでいく。

問 福祉ボランティア活動の現状の認識は。

答 高齢者の見守りや居場所づくり、子育て支援など、多様な支え合い活動は、福祉サービスの補完にとどまらず、地域住民のセーフティーネットの構築や自己実現にも深く結びついている。誰もが排除されず、共に生きていく社会を目指す上で、ボランティア活動は、本市にとっても極めて貴重な財産であり地域福祉を支える根幹をなしており、地域共生社会に向けた不可欠な基盤である。

問 新たな担い手を確保し、活動を広げていくことが重要で担い手不足の現状に対しての考えは。

答 新たな担い手の確保は、福祉ボランティア活動を持続可能としていく上で喫緊の課題である。将来にわたり地域福祉活動を継続していくため、特定層の依存から脱却し多様な背景を持つ市民が広く参画できる担い手の多様化を進めていく。

問 若い世代参加のきっかけづくりは。

答 若い世代の参加に地域福祉活動の継続性は重要で、まちづくり活動貢献学生認定制度などを創設し、学生の地域活動等への参加を促している。



福岡 里香 議員

DX推進の実効性と 市民サービス向上について

問 AI・DXの成果を、導入実績だけでなく、時間短縮などの効果も含めて市民に分かりやすく見える化する考えはあるか。

答 市民目線での成果の把握と発信に努めていきたい。

問 AIによる業務効率化で生まれた人的余力を、市民対応など対人業務の充実につなげていく考えはあるか。

答 そういった部分に人としての力を割いていけるようにしていきたい。

契約事務の適正執行と 地域防災力の確保について

問 契約事務の適正な執行を確認するため、全庁的な点検や抽出調査を実施しているのか。

答 年2回、入札監視委員会を開催。抽出案件を外部委員が審査し、契約事務の適正性を確認。

問 地域経済循環や災害対応力、災害対応体制

の確保という観点から、市内事業者の活用をどのように考えているのか。

答 地域性を重視した入札や地元業者を優先した契約により、市内事業者の継続的な受注機会の確保に努めている。

市営住宅の実態把握と 課題への対応について

問 HPと公式LINEでも募集案内や募集日程を周知するとともに、過去の募集情報を確認できるようにする考えはあるか。

答 公式LINEの活用も検討するとともに、過去の募集結果も確認できるようにする。

子どもの安全に関する情報発信と 対応のあり方について

問 不審者による露出行為に対して、すぐ一で「実害はありません」と表現した考え方と、児童や保護者への配慮が十分に伝わらない可能性について市の認識は。

答 過度な不安を避けるために使用していたが、今後は児童や保護者の心理的影響にも配慮し事案に応じた適切な表現へ見直していく。



野々山 啓 議員

避難行動要支援者支援の 実効性について

問 高浜小学校区モデル事業について、今後のスケジュールは。

答 6月9日に勉強会を開催。地域と協議し、モデルとなる対象者を選定の上、

本人、家族の御理解を得ながら、個別避難計画の作成を進め、年内には避難訓練を実施する予定。

問 個別避難計画を実際の避難行動につなげるための取組については。

答 本人や家族が避難について話し合う過程が防災意識の向上と実効性の確保につながると認識している。ケアマネジャー等やレスキューストックヤードにも計画作成や訓練に参画し、実践を通じて、福祉専門職への啓発を図る。

問 消防・福祉・防災部局の連携と、要支援者情報の適切な管理については。

答 平時から情報共有を図っている。個人情報

保護へ十分な配慮をし、情報の取扱いや保管方法については、関係者と丁寧に対話し、安心して活用できる仕組みづくりに取り組む。

平和行政の継続と次世代への継承について

問 昨年実施した原爆パネル展やVR体験の参加者からの反応は。

答 子供から高齢者の方まで幅広い年代の皆様に来場いただいた。

問 被爆樹木の植樹や平和絵画コンテストの活用、AI・VRなどを活用した平和学習についての考えは。

答 被爆樹木の植樹予定はない。平和教育においては、各種多くの教材の中から選定し、授業を行っている。AIやVRなどデジタル技術を活用した平和学習についても検討していく。

問 戦没者遺族会解散後の、市民団体や地域団体への支援についての考えは。

答 市民主体の活動の話があった際には、柔軟に後押しができるよう、仕組みや対応について検討したい。平和都市宣言の理念の下、市民の皆さんと一緒に平和について考えていきたい。



倉田 利奈 議員

市長の政治姿勢と政策について

問 市長が報酬の大幅なカットをおこなったうえでなければ、市長の行財政改革に臨む姿勢が見えてこないという声がたくさんある。市民サービスだけ削るのであれば、市民にも示し

がつかないと考えるが、市長は報酬をカットするのか。また、財政について宣言を行った自治体で首長の報酬をカットしなかったところはあるのか。

答 財政非常事態宣言を出していて、市長の報酬カットをしていない自治体はない。

私（市長）は行財政改革を誰かの給料を下げることだと考えていない。報酬を下げたかどうかという点ではなく、市政運営全体の結果として、3年後に民意によって判断いただく。

問 愛知県内で高校生年代までの医療費無償化の助成がされていない自治体は。

答 高浜市だけ助成できていない。構造改革を

して高浜市が持続可能な自治体にすることが最優先されるべき。

問 防災は市長の一丁目一番地の政策となっているが、耐震のない公共施設について判明してから15年使用を中止しない理由は。

答 使用者の方々と交渉をしている中で、速やかな移管ができればというのは考えている。

問 地域の防災について、市長はまちづくり協議会と町内会にどのような役割を担ってほしいと考えているのか。

答 自分たちの組織で、自分たちの財源や人、その地域特性を考えた中で自分たちごととして考えていただければと思っている。マニュアルを整備してくださいというような働きかけをやっている。地域と一緒にやっていくのが望ましい姿であるが、行政がすべて補って1から10までは到底できない。状況を鑑みてやれる範囲の中でやっていただくのが自主、自立の部分だと思う。一番肝心なのは、自分たちで考えること。町内会のごみの立ち当番で町内会の仕事が追われてしまっているのを、引き上げた。防災について考える時間を作り、そして動く時間のために立ち当番をなくした。



柴口 征寛 議員

教育行政について

問 教育長として、今後どのような教育行政を進めていく考えか。

答 「すべては子どもありき」を基本に、子どもの主体性や一人ひとりの成長を尊重した教育を進める。また、第2次教育基本構想に

掲げる「自分・仲間・社会の幸せのために学び続ける子どもの育成」を基本理念に取り組んでいく。

問 増加している不登校児童生徒への支援について、どのように取り組んでいく考えか。

答 一人ひとりの子どもが置かれている状況は家庭環境により様々で、保護者とも定期的に連絡を取りながら適切に把握し、高浜市教育支援センター「ほっとスペース」や校内教育支援センター等を活用し、きめ細やかで専門的な指導を個別に実施しなければならないと考えている。

平和行政について

問 平和都市宣言の理念を市民にどのように広

げていくか。

答 市民や地域団体が主体となる活動と行政が連携しながら、平和首長会議等のデジタル技術も活用し、平和都市宣言の理念が市民生活の中に自然と根付くような取り組みを検討していきたい。

問 平和や戦争、自衛隊の役割について、子どもたちが主体的に考え、自ら判断する力をどのように育んでいくか。

答 多様な意見や立場に触れ、それらを比較検討する経験が重要と認識している。対話や意見交流を通じて、自ら考え判断する力を育む教育を進めていく。

猛暑から市民の命と健康を守る取組について

問 生活困窮世帯等への支援についての考えは。

答 エアコン設置への支援として生活福祉資金制度を案内しているが、市独自のエアコン購入費助成制度については財源確保の観点から考えていない。

問 生活保護制度における夏季加算の創設に向けた国への働きかけについての考えは。

答 全国市長会において国に要望しており、機会を捉えて県を通じて制度創設を働きかけていく。



長谷川 広昌 議員

カスハラ対策について

問 今年の10月1日から地方自治体を含む全ての事業主に対して、カスハラを防止するための雇用管理上必要な措置を講じることが義務付けられるが、その取り組み状況は。

答 厚生労働省から示されている指針や近隣市の動向等も踏まえ、10月1日を目標に準備を進める。

問 カスハラが行政に与える影響はどのようなことがあるのか。

答 ①カスハラを受けた職員の精神的な負担の増加、メンタルヘルスの不調。最悪の場合は職員の病気休暇や離職につながるリスクなど「職場や職員への影響」。②カスハラ対応により、待ち時間が長引く、窓口業務の遅延、処理のミスを引き起こすリスクなど「市民サービスへの影響」。

問 正当な苦情・クレームについては真摯に対応していただくことを前提に、カスハラの発生

は職場における効率的な業務遂行に著しい支障を与えるだけではなく、被害にあった職員の心身の健康を損なう恐れがあるため、組織的に発生の防止に努め、カスハラ対策に万全の体制を整えていただきたいが、現状どのような措置を考えているのか。

答 カスハラ対策方針の策定、カスハラの内容・対処法・相談窓口の設置の周知と啓発。また、カスハラを受けた職員へのメンタルヘルスケア。職員に対する研修の実施。電話の録音。

財政運営について

問 私が議員になった当初より訴えている「公会計（民間会計）」の考え方や施設別行政コスト計算書をさらに活用して、持続可能な財政運営を着実に遂行していただきたいが。

答 財政運営が厳しい状況にある中で、施設別行政コスト計算書等の様々な財務分析への活用や職員のコスト意識を醸成するための手法として、公会計（民間会計）の考え方を定着させることは大変有効であるため、職員が公会計をより身近に感じ、日々の業務に活かせるようさらに研究していく。



橋本 友樹 議員

環境行政について

問 分別収集拠点の再編が行われ、町内会による立ち番制度は廃止となり、シルバー人材センターに委託となったが、市として問題点、課題をどのように感じているのか。

答 4月1日からシルバー人材センターに委託となったが、おおむね順調。シルバーの会員については約50人増加し、全体で約480人。会員数のうち113人が分別拠点業務に従事。基本方針に掲げているリサイクル推進を支える高齢者の雇用と生きがいの創出といった面でも有効であったと理解している。

問 シルバー委託となり、担当される方にどのような教育、説明、指示をされたのか。

答 4月の就業開始にあたり、分別拠点の説明会を開催した。市からは、資源分別拠点再編の考え方、具体的な作業内容を説明。シルバーからは就業に関する事項、説明をしている。説明会終了後、高浜エコハウスにおいて、分別学習を

実施。具体的には午前7時までに拠点を開設できるよう準備、資源ごとのかご等を必要個数並べ、プラカードの設置。資源の分別補助を7時から8時の間可能な限り実施していただく。午前8時に片付けをお願いしている。

問 開設前に収集品目ではないものが出されている。何か対策はあるのか。

答 不法投棄の対策としては、不法投棄防止看板を設置し、原因者が特定できる場合はポスティングによる注意喚起、不法投棄の監視パトロール、監視カメラの設置。現時点では3基設置。新たに必要であれば移設し設置する。

問 特別収集拠点の開設日が増えたが、投入される量は変化があるのか。

答 不燃ごみについては4月、5月の2か月間で3,510キロ、前年度比48%増。小型家電については130キロ、前年度比7%増。

問 今回開設日が増えたが、将来的には常時開設を目指すのか。

答 特別収集拠点の整備、今年度不動産鑑定と測量を行い9年度取得を目指す。共働き世帯が増え、市民生活も多様化している。使いやすく持続可能な資源回収の形を考えていきたい。



北川 広人 議員

学校給食について

問 現在の学校給食の取り組みは。

答 高浜市の学校給食の調理方式は、自校調理方式で実施し、調理業務は、高浜市総合サービスに委託している。令和7年度より、学校給食費の公会計化と同時

に、給食献立の統一化及び食材調達を実施している。給食費は給食費負担軽減税率交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、保護者負担の軽減を図っている。

現在、アレルギーのある児童・生徒など学校給食の非喫食者に対する保護者負担の軽減も検討している。

問 自校調理方式による教育的効果をどう認識しているか。

答 学校給食法が掲げる食育を最も効果的に実践できる教材・環境になる点や、単なる食事の提供を超えた高い教育的効果や健康上の価値を生み出すと考えている。

また、教育的効果以外にも、自校調理方式は、大規模な炊き出し拠点として極めて有効と考えている。

問 統一メニュー方式による成果をどのように評価しているのか。

答 各学校で提供される食事の内容や量に差が出ない。また、計画的な献立となり、各学校で個別に献立を考える手間や時間が省けた。さらに、同一の食材を一括購入・発注できるため、物流や購入コストを抑えることができた。

問 教育的効果と財政負担を比較した際の高浜市としての判断は。

答 教育的効果や安全性を最優先して自校調理方式を継続するか、厳しい財政状況からコスト効率的の良いセンター方式を選択するかという教育的価値と財政負担の間で苦渋の選択で自校調理方式を選択した。

問 統一メニュー方式による効率化、公会計化による見える化、自校調理方式による教育的価値をどう両立していくのか。

答 自校調理方式による教育的価値に統一メニュー方式及び公会計化のメリットを両立し、財政負担の軽減及び食育の推進を図っていく。



荒川 義孝 議員

開庁時間の短縮について ～フロントヤード改革の 観点から考える～

問 単なる労働時間削減ではなく「効率化して結果的にサービス向上を図る」というロジックで説明ができる。業務改善、短縮時間の活用等、スケジュールに変化は。

答 短縮時間は業務時間外に行っていた処理に充てることができている。

問 BPRを行い、最も効率性に差があるボリュームゾーンを見極めた上で、ベストプラクティスを見つけ出すべきであり、現在進める行財政改革においてどのような考えのもと取り組むか。

答 市民サービスの質を下げずに働き方改革を進めるための重要な起点であり、地域情報化アドバイザー制度を活用し、研修等を行う予定。

問 開庁時間短縮で住民に出る影響と変化は。

答 住民サービスがオンライン化、分散化する。

問 バランススコアカードの顧客の視点で、窓口時間短縮はメリットが出にくい。市民の幸福を最大化するために何を削り、何を伸ばすか

という経営判断が求められる。短縮の影響に対応する例外導線や代替手段（来庁しない導線）の整備などのコンフリクトマネジメントをどう考えるか。

答 費用対効果を踏まえ、住民が「来庁しなくても完結できる」導線を着実に増やしていく。来庁者が多い時期は、開庁時間を早める対応予定。

問 開庁時間短縮は単なる“営業時間変更”ではなく、住民との接点改革や代替手段の整備を含む総合的な改革であるフロントヤード改革。「書かないワンストップ窓口」の導入を検討してみては。

答 市民の利便性向上と職員の事務効率化の両面で効果が期待でき、調査研究を進める。

問 来庁が困難な住民に行政手続や相談業務ができるマルチタスクを備えた移動市役所等の省人化した機能を店舗等に設置してみては。

答 利便性向上の手法の一つとして、費用対効果も含めて調査・研究を進める。

問 職員のタイパ・働き方指標、行政全体の持続可能性・成果指標について、短縮で生み出した時間を業務改善や政策立案に振り向けるための投下時間、実績を指標化してみては。

答 職員アンケート実施により把握していく。

会議録は 順次公開しております。

高浜市公式
ホームページ



「トップページ」→「高浜市議会」

→会議録「定例会」「臨時会」「委員会」「特別委員会」

ご覧になりたい「会議録」を選んでください。

URL <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/>

議場に行かなくても「本会議」が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、
ライブ配信や録画配信をご覧いただけます。

- ①ライブ配信で、本会議の視聴ができます。※告示日と各委員会等の配信はありません。
- ②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。
- ③録画配信は、ライブ配信後、概ね2週間後を予定しています。

公式ホームページ
からも
リンクしています。

「トップページ」→「高浜市議会」→「議会映像配信」
(※ご覧になりたい「定例会」・「臨時会」を選んでください。)

■パソコン向け・スマートフォン向け映像配信アドレス

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/rd/council.html>



！
ご注意
ください

※視聴は無料ですが、通信料などはご視聴者の皆様の負担となります。動画配信のため、ご契約内容によっては通信料等が高額となる場合がありますので、契約内容のご確認とご納得の上で視聴願います。

政務活動費交付金の会派別執行状況を公開しています

高浜市議会では、政務活動費の適正な運用と使途の透明性を確保するため、会派別の収支状況を高浜市議会公式ホームページに掲載しています。

「トップページ」→「高浜市議会」→「政務活動費」



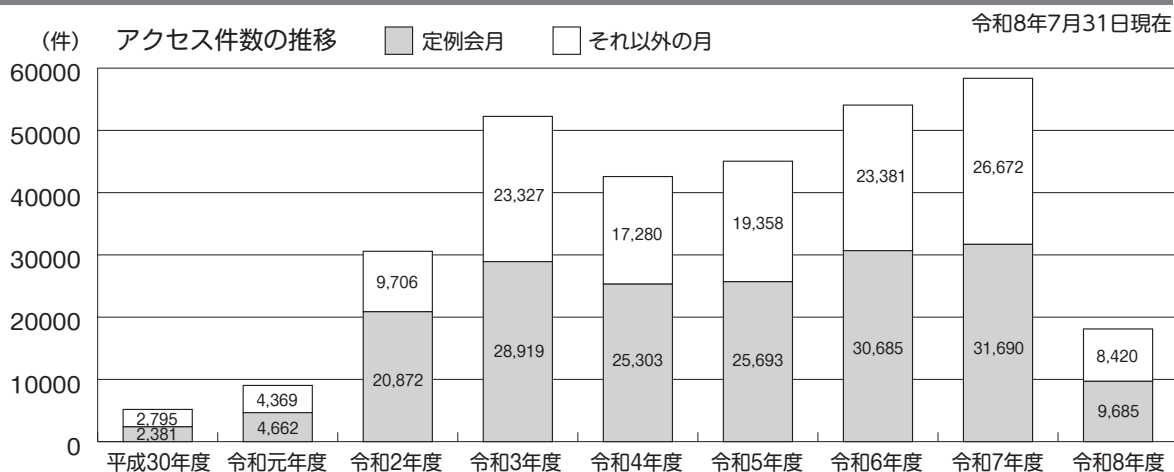
高浜市議会個人情報保護制度の施行状況について

令和5年4月1日より高浜市議会が保有する個人情報については、「高浜市議会の個人情報の保護に関する条例」に基づき運用しています。詳しくは、高浜市議会公式ホームページをご覧ください。

「トップページ」→「高浜市議会」→「個人情報保護」



議会中継サイトへのアクセス状況をお知らせします



区分	月	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	4	318	476	1,360	2,201	1,175	1,916	3,523	2,869	1,643
	5	262	600	2,150	2,139	4,032	2,354	2,741	2,829	2,998
定例会	6	592	966	4,869	9,737	7,527	6,010	8,399	9,247	9,685
	7	338	569	1,172	1,337	3,301	1,951	2,800	2,597	3,779
	8	437	606	1,179	1,148	1,200	2,120	1,550	1,642	—
定例会	9	796	1,323	4,056	3,957	5,993	8,022	10,430	3,846	—
	10	195	499	1,222	3,100	1,969	1,737	3,069	5,569	—
	11	303	535	817	1,136	1,479	2,154	1,782	3,715	—
定例会	12	489	1,305	4,985	7,292	6,295	7,303	7,538	10,586	—
	1	275	573	856	2,680	1,675	2,030	2,205	5,089	—
	2	667	511	950	9,586	2,449	5,096	5,711	2,362	—
定例会	3	504	1,068	6,962	7,933	5,488	4,358	4,318	8,011	—
合 計		5,176	9,031	30,578	52,246	42,583	45,051	54,066	58,362	18,105
年度平均		431	753	2,548	4,354	3,549	3,754	4,506	4,864	1,509

各委員会委員等一覧表（令和8年5月22日現在）

議 長 神 谷 直 子	副 議 長 荒 川 義 孝	監 査 委 員 今 原 ゆかり
総務建設委員会 (7名)	◎橋 本 友 樹 北 川 広 美 ○黒 川 美 克	神 谷 直 子 柴 口 征 寛
福祉文教委員会 (6名)	◎野々山 啓 長谷川 広 昌	今 原 ゆかり 倉 田 利 奈
議会運営委員会 (6名)	◎橋 本 友 樹 北 川 広 人	福 岡 里 香 鈴 木 勝 彦
議 会 改 革 特 別 委 員 会 (11名)	◎橋 本 友 樹 福 岡 里 香 ○北 川 広 人 倉 田 利 奈	野々山 啓 岡 田 公 作 鈴 木 勝 彦 黒 川 美 克

◎委員長 ○副委員長 ※議席番号順

9 月 定 例 会 の 日 程 （ 予 定 ）

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。

月 日	曜	会 議 日 程	摘 要
8月26日	水	告示日	議会運営委員会
9月 3日	木	本会議 第1日 ライブ配信	開会、議案上程、説明
9月 8日	火	本会議 第2日 ライブ配信	一般質問
9月 9日	水	本会議 第3日 ライブ配信	一般質問
9月11日	金	本会議 第4日 ライブ配信	総括質疑、決算特別委員会設置、議案委員会付託
9月15日	火	決算特別委員会	委員長選出、現地調査等
9月16日	水	決算特別委員会	付託案件審査
9月17日	木	決算特別委員会	付託案件審査
9月29日	火	総務建設委員会	付託案件審査
9月30日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
10月 6日	火	本会議 第5日 ライブ配信	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

※今後の協議により、変更となる場合があります。

※令和8年6月から市役所窓口の開庁時間及び電話受付時間が午前9時から午後4時までとなりますが、傍聴は、会議中であれば午後4時を過ぎていても入退場が可能です。その際は、職員にお声がけ願います。

編集後記

5月の臨時議会において新たな議会人事が行われました。広報・広聴委員会も新たな体制で編集を行ってまいります。市民の皆様がより議会を身近に感じることができる誌面づくりに努めていきます。

「ギュられる」という言葉が、就活生のあいだで急速に広まっています。SNSでは「ギュられる前に就活を終えたい」「ギュ後の世界をどう生きるか」といった投稿が連日流れています。「ギュられる」とは、AIに仕事や役割を奪われることを指す就活生発のネットスラングです。シンギュラリティ（技術的特異点）の「ギュ」に、受け身の「られる」をくっつけた造語です。私達議員の仕事は「ギュられる」ものであってはなりません。市政全般の課題、市民の多様な意思を的確に把握し、市民の代表として議員それぞれの考えをしっかりと示し、市民の皆様の信託にこたえてまいります。

広報・広聴委員会 委員長 荒川 義孝



橋本副委員長 荒川委員長